

POSTER GIRL

ポスターガール

地域自主上映のご案内



イラク帰還女性兵士は PTSD の地獄から 自己の人間性をどのように“回復”してきたのか？

イラク戦争開戦から8周年の今年3月、『第3回 国際映像祭』が開催されました。その特別招待作品＝『POSTER GIRL』（「第83回アカデミー賞ドキュメンタリー短編賞」ノミネート作品）の上映権契約が、このたび米 PF 社とマブイ・シネコープの間で成立し、今秋より全国の地域自主上映会にむけ配給・上映を開始するはこびとなりました。ここに報告・紹介とあわせ地域自主上映会むけ「上映申込み要項」のご案内をさせていただきます。

このドキュメンタリー作品は、アメリカ合衆国州兵としてイラク占領作戦に動員され、『ARMY』（米陸軍広報雑誌）表紙に掲載された主人公の女性兵士が、帰還後の PTSD（心的外傷ストレス障害）に苦しみながら、地獄の記憶－“自分自身が人間性を奪われた怪物であったこと”を見つめ向きあうなかから、自己の人間性をどのように“回復”してきたのか－を描いた37分の短編作品です。

この間、マブイ・シネコープでは“シリーズ「21世紀をつくる」”の一環として、2008年『立ち上がる IVAW』Part1. から翌年 Part2. 『IVAW イラクに誓う』、以降2011年2月 Part5. 『語りかけるイラク帰還兵』とシリーズを連続制作＝地域での上映会に配給・上映を重ねてきました。そして最新作 Part6. 『IVAW 明日へのあゆみ』（DVD35分）をこの7月末に完成させ、奇しくも今秋より配給・上映を開始しようとしています。

『POSTER GIRL』と『立ちあがる IVAW』シリーズ＝とりわけ Part6. 『IVAW 明日へのあゆみ』に共通するもの＝それは“戦争と貧困の同時代を生きる人間存在としてのたたかい－奪われた人間性をとりもどすために－そのために、わたしたちになにが必要となっているのか？”－という問いかけと示唆にほかなりません。同時にそれは、未曾有の原発震災から明日を生きようとするわたしたちへの熱いあついで連帯のメッセージでもあります。

『POSTER GIRL』は下記要項にて今秋より配給・上映を開始します。ぜひ各地域・団体におかれましては『POSTER GIRL』と IVAW シリーズ最新作 Part6. 『IVAW 明日へのあゆみ』との2本立て上映会（上映時間＝合計72分～休憩・感想交流ふくめ約2時間の上映会企画）の実現にむけ鋭意ご検討くださいますようお願いいたします。

1. コンテンツ仕様 ・ DVD＊／日本語字幕 37分（＊再生はパソコンによる DVD 再生となります。）
2. 貸出し料金 ・ 地域上映会：一般@800円／名×50名＝40,000円を最低保障額とします。
(1日2回まで) (50名を超えた場合は1名につき400円を加算＝【例】60名では44,000円)
・ 学校・団体鑑賞：鑑賞予定人数・会場等により別途協議させていただきます。
3. 宣材料金 ・ B5 チラシ 5円／枚
・ ポスター 100円／枚
4. 上映申込み ・ 別紙『上映申込書』にご記入のうえ FAX または郵送にて下記まで。
(URL: homepage2.nifty.com/cine-mabui/ からもお申込みいただけます)
〒536-0005
大阪市城東区中央1丁目8-24 東洋プラザ蒲生 305
TEL/FAX: 06-6786-6485 有限会社 マブイ・シネコープ

マブイ・シネコープではこのたびドキュメンタリー映画『POSTER GIRL』を新たにラインアップに加えて、地域や学校での上映会ならびに労働組合などでの平和・人権学習企画～団体鑑賞にご活用いただけますよう下記要項にて今秋より配給・上映を開始します。ぜひ各地域・学校・団体におかれましては上映会実現にむけご検討くださいますよう、よろしくお願いたします。